

平成28年度第2回臨時社会教育委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成28年7月22日（金）午後2時～4時

2 開催場所 中央図書館 2階 視聴覚室

3 出席者

（委員）

藤田委員長、松木副委員長、上谷委員、大塚委員、守屋委員、松浦委員、朱膳寺委員、扇谷委員、田中委員、渕野委員

（事務局）

生涯学習部次長、市民スポーツ課長、運動公園スポーツ施設整備課長、生涯学習課長、市民スポーツ課スポーツ振興係長、生涯学習係

4 傍聴人 0人

5 議題

（1）協議事項

1）浦安市の生涯スポーツ推進のあり方について

（2）その他

1）千葉県社会教育委員連絡協議会より（委員長より）

2）次回の会議日程について

6 議事概要及び会議経過

（1）協議事項

1）浦安市の生涯スポーツ推進のあり方について

委員長より、平成25年12月に行われたUモニアンケート（スポーツの取り組みに関するアンケート）結果について説明した。

委員からの主な意見・質問等は、以下の通り。

（委員） スポーツ推進計画について何か資料はあるのか。

（事務局） 子どもから高齢者や障がいをもった方々にどのような場や教室を提供していくか等、浦安市のスポーツ推進計画については、今後検討を重ねながら、浦安市生涯学習推進計画の中に盛り込んでいく予定である。

（委員） 以前配布された教育ビジョン抜粋の資料にある子どもたちの体育教育について説明してほしい。

（事務局） 教育委員会は教育ビジョンと生涯学習推進計画の2本立てで計画を立てている。教育ビジョンについては、学校教育の基本計画である。

（委員） 教育施策の中に生涯スポーツとして何をやるか施策や事業が見えてくると反映しやすい。

（委員） 我々の提言書の方向性として、市の施策との整合性は必要である。教育ビジョンは、学校教育についての計画であるが、教育委員会が立てたものであるため、学校体育だけな

く社会体育に関わるものも含まれるのであるならば、それに沿っていく必要はある。

(委員) 提言書の完成はいつなのか確認したい。

(委員長) 来年の6月に完成させる。

(委員) Uモニのデータはとても素晴らしいので、これと似たようなアンケートをとる必要はないのではないか。この結果を利用して、アンケート結果をもとに提言書作成に向けて議論をしていく方がいいのではないか。

※この意見をもとに委員長より他の委員に意見を求めた結果、前回の、Uモニアンケートを参考とすることとし、今回はアンケート調査を行わないこととなった。

(委員) 子どもを託児室に預けて母親が何か運動できるような教室がたくさんあるといいと思う。また、夏休みにおけるラジオ体操は、あまり出席状況がよくないので、調査してみたい。

(委員) 生涯スポーツ健康都市宣言はしているものの、市民にあまり知られていない。アピールしていくことが大切。

(委員) 30代でスポーツをしていない理由に「スポーツをするきっかけがない」「気軽にサークルに参加できれば」「一歩がだせない」等と書かれているので、その辺がクリアになるといいと思う。ラジオ体操は子ども会が関わっているが、子ども会の減少及びお手伝いをするボランティアも減っているので、シルバー世代のボランティアが関われたらと思っている。事業については、保護者が参加しなくても大丈夫なものだと参加率が高くなる。

(委員) 浦安は体育施設や施策行事等が充実していると思うが、Uモニの結果を見ると運動をしていない方がまだ多いように感じる。イベント告知や誘いかけ等、広報活動が必要でないかと思った。また、民間のジムにおいて、ポイント制で何かを達成したら、プレゼントをもらえるなどのアイデアも必要でないか。

(委員) ウォーキングをしている方々が多いので、万歩計を利用した歩数の確認ができると目標が立てやすいと思う。学校開放については、小中学校だけでなく、高等学校もできたらいいのではないかと思う。

(委員) 70代、80代の高齢者は、運動をしている方が多いと思う。ラジオ体操については、地域によって出席率の差がある。運動公園内の工事も進み、これからソフト面をいろいろ考えていくということで楽しみである。

(委員) 運動しない理由は、「スポーツが苦手」という方が一番多い。それは、走る、投げる等、競技的なものを連想してしまうからだと思う。遊歩道を歩いていると、遊具・器具等多く見かける。例えば、ウォーキングイベントの中で、そういったものを紹介したりするようなことがあったらいいと思う。

(委員) 生涯スポーツ健康都市宣言は、いつ発表されたのか。

(事務局) 2010年10月10日である。

※この後4つのグループ(「子ども」「成人」「高齢者」「障がい者」)に分かれて、各グループにおける目標と提言骨子についての協議及び協議内

容の発表を行った。

(障がい者グループ)

「障がい者」というくくりについて話し合った。障がい者だけではなく、運動もスポーツも全くしない25%（平成25年Uモニアンケート結果より）の方々等、広い視野で考えていきたいということで、名称を変えるか他のグループに入るか、今後検討して決めていきたい。

(子どもグループ)

各自が2つ目標を考えて持ち寄り、検討することに決定した。また、実際に行われるスポーツイベント等に足を運び、提言作成に向けて努力していきたい。

(成人グループ)

目標・骨子については、基本的に委員長の作成した案をもとに検討していきたいと考えている。総合型地域スポーツクラブの育成については、調査してから考えていきたい。

(高齢者グループ)

骨子については、大会や集いを開く際に生涯スポーツ健康都市宣言〇〇推進事業と明記すれば、市民の方々に健康都市宣言の周知ができると思う。スポーツ推進委員と連携し、指導を頂きながら事業を考える等、話し合った。

(3) その他

1) 千葉県社会教育委員連絡協議会より

委員長より一般社団法人全国社会教育委員連合の総会で議決された「任意の寄附」について説明した。

2) 次回の会議日程について事務局より説明。

次回の会議日程については、平成28年9月15日（木）午後2時から予定。

以上